

褥瘡対策チーム

褥瘡対策チーム（以下、本チーム）は 2006 年より活動を開始しました。

褥瘡は悪化すると治癒しにくく、痛みも伴うため、QOL の低下が懸念されます。その為褥瘡の予防と早期発見に努め適切な褥瘡管理によって改善・治癒する事を目指し活動しています。2021 年から 3 ヶ月に 1 回全病棟師長と共に褥瘡対策委員会を開くこととなり、病棟との連携が緊密にとれ、問題点に対して細かく対応出来る体制になりました。

本チームは、皮膚科医師、形成外科医師、理学・作業療法士、管理栄養士、薬剤師、皮膚・排泄ケア認定看護師の多職種で講師されています。チームとしては週に 1 回カンファレンスを行っています。そこでは、褥瘡を保有者の背景を共有し、適切なケアが提供できるよう話し合います。その後に回診を行う事で実際の患者さんの状況を確認し、病棟看護師とケア方法の検討・共有を行っています。

また、褥瘡は出来ないようにする事が一番重要ですので、普段の患者さんの対応以外に、褥瘡に対する教育活動も継続して行っており、病院全体として褥瘡への対応がレベルアップできるように取り組んでいます。

褥瘡対策は、本チームが中心となって行いますが、院内の全てのスタッフの理解と協力が必要です。本チームは、これからもこの活動を通じて入院治療の質の向上を目指して参ります。